



# 10月新着本案内

瀬木学園図書館



## 「どんな絵本を読んできた？」

「この絵本が好き!」編集部編

絵本作家や漫画家、写真家など57名の絵本好きたちが、思い出の1冊を紹介してくれます。みなさんには思い出の絵本はありますか？(019.53/コ)

## 教育関連シリーズ

### 「教育:変革への展望」シリーズ

教育改革の指標を「質と平等の同時追求」に設定し、現代の教育問題解決のために、多様な角度から考えます。

「教育の再定義」(370.8/キ/1)

「社会のなかの教育」(370.8/キ/2)

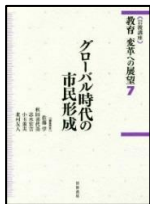
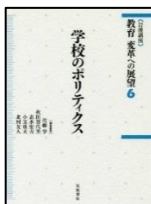
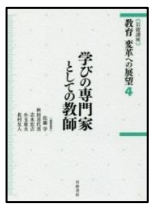
「変容する子どもの関係」(370.8/キ/3)

「学びの専門家としての教師」(370.8/キ/4)

「学びとカリキュラム」(370.8/キ/5)

「学校のポリテクス」(370.8/キ/6)

「グローバル時代の市民形成」(370.8/キ/7)



## 「パーソナリティ障害」市橋秀夫監修

「見捨てられる不安」や「自己不信」を抱えていませんか？それはパーソナリティ障害かもしれません。どんな障害かを知り、どのように向き合っていけばよいか正しい対処法が分かります。(493.76/イ)



## 「好きなものだけ食べてなぜ悪い?」可野倫子著

食べたものがどうやって自分の体になるのか、どんな時にどんなものを食べればよいのか、小学生にも分かる言葉とイラストで解説されています。心と体が健やかであるために勉強しましょう。(498.5/カ)



## 「最悪の事故が起こるまで人は何をしていたのか」

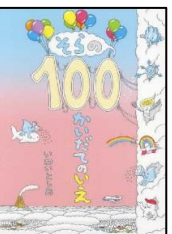
ジェームズ・R・チャイルズ著/高橋健次訳

巨大システムが暴走したとき、制御室で人々は何をやるのか、できるのか？原子力発電所、ジャンボ機、核ミサイル基地などのシステムに迫ります。(509.8/チ)



## 「はやうま一汁一菜」

定番のものから、がっつり料理、あっさり系まで120のバラエティ豊かなレシピが載っています。「一汁三菜」が良いと言われますが、栄養・ボリュームが満点の「一汁一菜」もおすすりめです。(596/ハ)



## 「そらの100かいだてのいえ」いわいとしお作

シジュウカラのツピくんがひまわりの種を持って、空へと飛んでいきます。空には色々な住人がいました。「100かいだてのいえ」シリーズ第4弾です。今回は少し変わった住人が登場します。(726.6/イ)



## 「コンプレックス文化論」武田砂鉄著

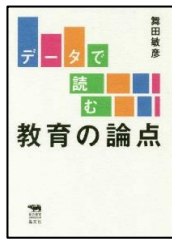
コンプレックスを抱える人にインタビューを行い、「コンプレックスが文化を形成してきた」という仮説を立証しています。天然パーマ、一重、親が金持ち・・・抱える悩みから何が考察されるのか。(361.5/タ)



## 「3.11後の子どもと健康」

大谷尚子, 白石草, 吉田由布子著

原発事故が起きたのに、子どもの健康は守られていない。養護教諭や市民はどのように、子どもたちの成長を支援していけばよいのかを考えます。(374.9/オ)



## 「データで読む教育の論点」舞田敏彦著

子ども、家庭、学校、若者、社会の5章からなり、それぞれ関連する統計データが載っています。貧困と学力の関係は？20代の非正規化社会・・・など、データから教育問題が見えてきます。(372.1/マ)



## 「歴メシ!」遠藤雅司著

世界最古のパン、メソポタミア文明のシチュー、ローマ帝国のチキンサラダ、マリー・アントワネットのメインディッシュ・・・歴史上の料理をおいしく再現しています。エッセイも載っていて面白いです。(383.8/エ)

## サイエンス・アイ新書



## 「論理的思考最高の教科書」福澤一吉著

論理的思考を実践するための様々な手法が、例を挙げて、分かりやすく解説されています。論理的思考は議論の場だけでなく、日常生活でも有効かつ重要なことです。(116/フ)

## 文藝新書



## 「僕たちが何者でもなかった頃の話をして」

山中伸弥 [ほか] 著

各界の著名人・偉人でも挫折し悩みや失敗を重ねて、今があります。彼らがチャレンジを続けられた理由とは。対談形式で書かれています。(159.7/ヤ)

## 集英社新書



## 「人間の居場所」田原牧著

私たちの居場所はどこにあるのか。AKB、シリア難民、暴力団、新宿ゴールデン街・・・一見バラバラな断片に見えても、つなぎ合わせたとき、浮かび上がってくる「人間」の姿とは。(304/タ)

## ベスト新書



## 「日本の異界名古屋」清水義範著

「魅力のない都市」として話題の名古屋ですが、果たして本当でしょうか？著者は名古屋出身ですが、この話に納得だと言います。我が道をいく名古屋の魅力、再確認してください。(361.42/シ)

## 日経プレミアシリーズ



## 「かしい人は算数で考える」芳沢光雄著

言葉を正しく知り、「算数的論理思考」で考えれば、物事を賢く解決することができます。スマートな頭の使い方がやさしく解説されています。数え方を知っているだけでも差がつきますよ。(410.4/ヨ)